

① こうざき 議会だより

2026
第148号
11月1日

発行・神崎町議会 編集・議会広報編集特別委員会 ☎289-0292 千葉県香取郡神崎町神崎本宿163 ☎0478 (72) 2115



第5回定例会・・・・・・・・・・・・・P2
決算認定・・・・・・・・・・・・・P4



一般質問・・・・・・・・・・・・・P8
議会の動きなど・・・・・・・・・・・・・P14

議会本会議の録画映像配信始めました。 <https://kozaki-town.stream.jfit.co.jp/>

令和8年第5回定例会

令和7年度各会計決算を認定

子ども家庭センター開設準備や小学校改修事業を含む
1億2020万円の補正予算等を可決

議案等の概要

令和8年第5回定例会を9月8日から18日までの会期11日間で開催しました。会議では、固定資産評価審査委員会委員の選任同意、教育委員の任命同意、条例の一部改正、補正予算並びに令和7年度一般会計ほか4特別会計の決算認定が審議され、同意、可決、認定されました。

一般質問は、6名の議員から町政全般にわたり活発な質問が行われました。

◎神崎町認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正

令和8年6月30日に地方自治法施行規則が改正されたことによる当該条例の一部改正を行います。主な改正内容は条すれの修正です。施行期日につきましては、令和8年10月1日からとなります。

◎令和8年度神崎町一般会計補正予算（第3号）

既定予算に1億2020万円を増額し、予算総額を32億9580万円とするものです。歳出の主なものは、

子ども家庭センター開設準備費用として児童福祉総務費580万7千円、水田自給力向上対策事業568万5千円、小学校施設改修事業1075万6千円等です。また、歳入の主なものは、児童福祉費補助金442万6千円、公共施設整備基金繰入金及び前年度繰越金です。

◎令和8年度神崎町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

既定予算に4630万円を増額し、総額を7億6050万円とするものです。歳出は、介護保険基金への積立金1814万7千円と前年度国・県の負担金精算

による返還金等2678万6千円です。また、歳入の主なものは、前年度繰越金です。

◎神崎町固定資産評価審査委員会委員の選任同意

9月30日をもって任期が満了する神崎町固定資産評価審査委員会委員に、新たに金田智氏（神崎本宿在住）を選任することに同意しました。

◎神崎町教育委員会委員の任命同意

9月30日をもって任期が満了する教育委員会委員に、岡野公子氏（松崎在住）を再度任命することに同意しました。

◎令和8年度神崎町一般会計補正予算（第4号）

既定予算に7150万円を増額し、予算総額を33億6730万円とするものです。町道毛成堀籠線道路改良事業における毛成橋架替にかかる費用が増加したため歳出の増加となります。

併せて継続費の変更を行いました。歳入は町道毛成堀籠線道路改良事業債による起債、財政調整基金繰入金などです。



採決の様子

町長行政報告
(要旨)



椿 町長

省エネ家電製品普及促進事業は7月1日から受付を開始し、2か月で350万円を補助しています(執行率50%)。環境対策への取組に対して町民の理解が深まってきたと推測されます。

道の駅の経営状況では、駐車場を閉鎖した土木工事の関係により、来場者数が減少し67万人となり、販売金額では、来客数減少の影響から総額ベースで約8億2千万円となり、昨年と比べ減少する結果となりました。

道の駅改修関係では、神崎PA(仮称)の整備について現在はパーキングエリア本体のほか、圏央道4車線化と併せたランプの

造成工事が行われており、順調に施工が進んでいる状況です。

道の駅改修工事に関しては、新発酵市場棟建築工事が無事落札され、現在建築工事が進められております。

8月1日に道の駅において「全国発酵食品サミットinこうざき」のプレイベントとして「発酵の日イベント」を開催し、発酵料理教室やオーガニックマルシェ、藍染体験を行いました。

成田神崎線では道路整備工事が進められており、植房コミュニティセンター及び消防庫建築の契約を締結しました。神宿松崎線では全筆買収に向けて用地取得を進めています。毛成堀籠線では、成田市側延長約93mの道路拡幅工事の契約が成立し、毛成橋の架け替え工事の設計の見直しを行っております。

敬老大会を年9月19日に実施し、長寿をお祝いし、記念品を贈る予定です。

神崎ふれあいプラザ文化ホールの舞台照明設備改修工事では、照明設備のLED化や操作卓を更新し、安定的に運用できるようになりました。

両小学校体育館の空調設備設置工事は、変圧器の改修を行い工事が完了しました。神崎小学校、神崎中学校校舎の空調設備改修工事は、夏休み中にほぼ工事が完了しました。町内学校教職員を対象として「神崎学研修会」を開催しました。発酵の里こうざきの魅力を教職員が学び、体験すること、神崎町の伝統や文化を受け継ぎ、ふるさと神崎を誇りに思い、町づくりに積極的にかかわる児童生徒を育成できるものと期待しております。

補正予算の概要

(1万円未満四捨五入)

会計名	補正額	補正の主な内容
一般会計 (補正第3号)	1億2,020万円	・財政調整基金積立金 6,883万円 ・子ども家庭センター開設準備 531万円 ・経営体育成事業補助金 556万円 ・水田農業資材高騰緊急支援事業補助金 569万円 ・道路改良工事 成田神崎線 292万円 ・小学校施設改修事業 1,076万円
一般会計 (補正第4号)	7,150万円	・町道毛成堀籠線道路改良事業 7,150万円

第5回(9月)定例会 審議結果

賛成=○ 反対=× 議長=― (議長は、採決に加わりません)

議案番号等	議案名	議決結果	池田孝幸	椿浩一	大原秀雄	高柳智	荒井葉一	鈴木節子	石橋伸一	宝田久元	高橋正剛
第1号	神崎町認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	―
第2号	令和8年度神崎町一般会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	―
第3号	令和8年度神崎町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	―
第4号	神崎町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	―
第5号	神崎町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	―
第6号	令和8年度神崎町一般会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	―

令和7年度 一般会計ほか4会計の決算を認定

令和7年度決算は、9月8日に上程され、長竿伸一代表監査委員から意見書の説明を受け、その後、10日に総務文教常任委員会、14日にまちづくり厚生常任委員会で審査を行い、18日本会議で審議し、全て認定されました。主な総括質問、討論は次のとおりです。

令和7年度会計別決算額

(単位:千円)

会計名	歳入	歳出	差引額	繰越額	実収 質支
一般会計	4,317,108	3,767,708	549,400	411,740	137,660
特別会計	国民健康保険	666,322	655,049	11,273	11,273
	介護保険	755,917	711,508	44,409	44,409
	後期高齢者医療	106,683	106,652	31	31
水道事業 (収益的収支)	211,851	181,858	29,993	0	29,993

健全化判断比率

● 早期健全化基準を超えていなければ健全と判断できます。

指標	内容	神崎町	早期健全化 基準
実質赤字率	一般会計の赤字割合	赤字なし	15%
連結実質赤字比率	全ての会計を合算した赤字割合	赤字なし	20%
実質公債費比率	年間の借入金返済額の割合	2.5%	25%
将来負担率	将来負担が見込まれる負債の割合	※ ー	350%

※ 将来負担額を充当可能財源等が上回るため、「-」と記載しています。

監査委員からの 意見(要旨)



長竿監査委員

令和7年度決算は、7月22日から28日までの4日間決算審査を行い、関係法令に基づく諸帳簿と照合の結果正確であり、予算の執行も概ねその目的に沿い、適法になされているものと認められました。

(一般会計)

生活者支援商品券事業や神崎ふれあいプラザ多目的ホール照明設備改修事業、道の駅改修事業、神崎川護岸整備工事、小学校体育館空調設備設置工事、町民野球場防球ネット改修工事など多くの主要事業を限られた財源の中で補助金や有利な起債等を活用することで、効率的な予算執行に努めたことが認められました。町税は個人住民税、固定資産税がともに増収となり、夜

間臨戸や差押え等の徴収対策の効果が表れており、徴収率が向上しています。今後、道の駅改修工事や施設の空調設備改修工事など大型事業や大型施設の改修工事が続くので利用できる財源は積極的に活用し、基金の活用も計画的に行っていたきたい。

(国保会計)

国民健康保険税の徴収率は、現年度分が95.1%、滞納繰越分が47.5%で、全体では90.3%となっています。全体の徴収率で2.7%増加しており、これは、徴収対策としての催告督促や差押えなどの対策の効果が表れていることがあげられます。特に滞納繰越分においては、千葉県税務課特別滞納処分室への徴収引継により16.0%と大幅に増加しています。

今後も引き続き徴収対策に一層の努力と工夫が望まれます。

(介護保険会計)

保険料の普通徴収分の徴収率は、現年度分91.6%、滞納繰越分9.5%であり、

現年度分、滞納繰越分とも徴収率が増加しました。

歳出では、施設入所者に係る介護サービス費が増加しており、継続的、長期的にかかる経費であるため、注視していつてもらいたいと思います。今後は委託となった地域包括支援センターと連携し、介護予防、重度化防止の取組を強化することが将来の介護給付費の増嵩を緩和するものと考えます。

（後期高齢者会計）

令和4年度から団塊の世代が75歳に到達し、被保険者数の高止まりが見込まれ、また、1人当たり年間医療費が県内でも高い状態が続いています。後期高齢者健診の受診率の向上に努めてもらい、医療費の低減につながることを期待します。

（水道事業会計）

漏水処理、配水管の敷設など、外部に発注することなく、職員が自主施工で実施しており、経費の低廉化と職員の技術向上に努めていることは大変評価できます。今後、老朽化した配水管の布設替え等大規模な

改修・配水池の耐震化工事も予測されることから、技術職員の確保など将来的な課題があるので、収益の向上に努め長期的な見通しをもつて、経営に努められたいと思います。

総括質問

総務文教常任委員会



荒井委員長

問 臨時財政対策債以外の起債の内容とその増減額の内訳はどうなっていますか。

答 公共事業等債、学校教育施設等整備事業債、防災対策事業債、緊急防災・減災事業債、緊急自然災害防犯対策事業債、財源対策債などの償還をしております。令和7年度に借入をした金額は、防災対策事業債90万円、緊急防災・減災事業債7860万円、公共

事業等債8620万円、緊急自然災害防止対策事業債7200万円、脱炭素化推進事業債2550万円の合計2億6320万円になります。償還については、3872万9千円を返済しましたので、その差し引き臨時財政対策債以外の増減額となります。（総務課）

問 選挙投票日当日の投票者数に対する18時以降の投票率は把握できていますか。

答 2月8日執行の第51回衆議院議員総選挙において、神崎町で当日に投票した方は第1及び第2投票区併せて1026名です。時間帯別の内訳ですが、7時～18時が960人で93・57%、18時～19時が37人で3・61%、19時～20時が29人で2・82%となっております。（総務課）

問 国民健康保険税の滞納繰越分の収納率が低い要因として外国人の国民健康保険加入が増えていることが考えられるが、何らかの対

策はないのですか。

答 神崎町国民健康保険税の滞納繰越分の収納率47・5%は県内2位の実績であり、決して低い数字ではないものであると認識しています。健康保険税の徴収に苦慮している要因の一つとして確かに外国人滞納者も多くあります。そのため一定の外国人滞納者については在留資格（ビザ）変更許可申請や在留期間更新許可申請を入管（出入国在留管理局）で行う際には、国民健康保険税の納税証明書を求めるための情報提供（通報スキーム）を入管との間で行っております。（町民課・税務）

問 長寿健康増進推進事業の内容はどのようなものですか。その対象者は何人ですか。

答 後期高齢者健康診査の受診率向上対策として、過去3か年の健診及び医療機関への受診状況をAIが分析し、5つのグループに分類します。その各グループに対し行動心理学（ナッジ理論）に基づき、受診勧奨の

案内を送付する事業となります。対象人数は8月末時点で、集団健診未受診者及び人間ドックの申請のない75歳～84歳以下の方、399名に対して発送しております。（町民課・後期高齢）

問 研修バスで事故が起った場合の補償はどうなっていますか。町が補償することもありますか。

答 研修バスでの事故は、自賠責保険と運行管理委託を受託した事業者が加入している任意保険で補償されます。基本的に町が補償することはありません。（教育委員会）

総括質問

まちづくり厚生常任委員会



池田委員長

問 防犯灯のLED化に

よって、電気料金はどの程度削減できましたか。また、町内の防犯灯の設置数を教えてください。

答 平成27年度からLED防犯灯に順次切り替えており、令和2年度にはほぼ完了しています。平成26年度の電気代が590万2354円に対し、令和3年度は185万1409円で、405万945円の減となりました。その後は物価高騰を反映して電気料金が値上がりし、令和7年度実績額343万6475円と比較しましたが、LED化の効果は十分に表れています。また、防犯灯の設置数は、令和7年度末で1361基です。（保健福祉課）

問 わくわく西の城が老朽化していますが、今後の方向性をどのように考えていますか。また、指定管理者の再募集を考えているか教えてください。

答 学童保育やジムなどの運営もあり、多数の団体が利用しておりますので、当

面は修繕の必要が生じた箇所を、直して利用していきます。なお、現在直営で運営を行っておりますが、経費的にも指定管理を行うよりも抑えられておりますので、指定管理者を再募集する予定はございません。（まちづくり課・地域振興）

問 有害鳥獣捕獲業務委託の内容はどのようなものですか。有害鳥獣防止対策補助金の内容も教えてください。

答 有害鳥獣捕獲業務は、神崎町猟友会と連携を図り、銃による駆除を年2回（6月と9月）の実施し、わなによる捕獲を通年実施しております。この活動に対する委託料として、神崎町猟友会が所属している香取郡猟友会と年間契約をしております。また、有害獣等被害防止対策補助金につきましては、町内に住所を有し、農業を営む個人や団体が有害獣等から被害を防止するための電気柵や忌避剤等の費用、また、有害鳥

獣捕獲に伴う銃・わなの免許の取得費用を対象に1/2を補助し、上限を5万円とするものです。（まちづくり課・産業）

問 道路補修作業委託の主なものを教えてください。

答 令和7年度は90件の委託を実施し、決算額は1703万6696円です。具体的な内容としては、地域要望や道路パトロールに基づき、舗装・路肩補修、側溝清掃や集水桝蓋等の交換・補修（排水改善）、道路や水路へ張り出した草木の伐採・剪定（除草・伐採）、河川・水路の水草撤去・処分などです。その中でも発注件数や金額が多かったものは、「側溝清掃や集水桝蓋等の交換・補修（排水改善）」が24件308万1千円、「舗装・路肩補修」が22件306万9千円、「道路や水路へ張り出した草木の伐採・剪定（除草・伐採）」が19件403万円となります。（まちづくり課・建設）

問 管路経年劣化率に関して、町内の水道管の状況を教えてください。また、今後の水道管の交換に対する準備は出ていますか。

答 管路全長約85kmのうち約22・8kmが耐用年数40年を経過している管となります。管の種類は、硬質塩化ビニール管（塩ビ管）が約50km、ダクタイル鋳鉄管が約18km、耐震管の高密度ポリエチレン管は約6km、残りが鋼管とポリエチレン管となり、石綿管はありません。耐用年数を経過した管がありますが、石綿管の管路がないため、耐用年数を経過していても特に不具合なく使用できる状況となつています。水道管の更新に関しては、漏水等劣化の状況を鑑みながら実施しており、今年度も老朽化した水道管の更新として、本宿5区地先の管の入れ替えを行っております。（まちづくり課・水道）

討論

反対 なし

賛成 荒井 葉二 議員



荒井議員

令和7年度の一般会計は、歳入総額43億1710万8千円、前年度比プラス14・3%、5億3939万8千円の増、歳出総額37億6770万8千円、前年度比プラス16・7%、5億3878万3千円の増、実質収支額は1億3766万円、前年度比マイナス28・9%、5589万3千円の減となりました。

歳入では地方交付税が13億7964万9千円と引き続き高く、町債は、前年度比プラス57・8%、9645万8千円の増額で、これは道の駅改修工事や防災行政無線改修事業、神崎川護岸整備事業の財源として地方債を発行したことで増額となつています。その他ではふるさと寄附金などが増加し前年度比プラス32・

7%となりました。

歳出では、生活者支援商品券事業や神崎ふれあいプラザ多目的ホール照明設備改修事業により総務費が前年度比プラス31・4%、商工費では道の駅改修事業に伴う事務室等増改築工事や浄化槽解体工事により前年度比プラス207%と大幅な増額となりました。教育費では小学校体育館空調設備設置工事、町民野球場防球ネット改修工事などを実施し前年度比プラス45・6%となりました。

実質収支は1億3766万円の黒字となり、実質公債費比率も0・5ポイント改善し25%となりました。

限られた財源の中で補助金や有利な起債等を活用しており、効率的な予算執行に努めたことが認められます。

道の駅改修工事や主要町道の改良工事など大型事業には、引き続き町長以下職員が一丸となつて取り組んでいってもらいながら、激甚化・頻発化する自然災害に対応するための防災減災対策を推進するとともに、高齢者

福祉の充実、こども医療費や保育料・給食費の無償化などの少子化対策を今後も継続して実施していくべきであると考えます。

国民健康保険事業は、実質収支1127万3千円で、財政運営の主体を県が行うことで、財政の安定化が図られております。徴収対策として督促・催告や差押えなどを実施したことで、徴収率は95・1%となり、特に滞納繰越分ではプラス16%と大きく増加しております。しかしながら、医療費が増加することも見込まれるため、特定健診の受診率向上や医療費低減の取組に努める必要があります。

介護保険事業では、実質収支4440万9千円で、施設入所者に係る介護サービス費が増加している中で、委託となった地域包括支援センターと連携して介護予防の取組を強化し、重度化防止の取組に努めて欲しいと思います。

後期高齢者医療では、実質収支3万1千円で、1人当たり年間医療費が県内で

も高い状態が続いています。団塊の世代が75歳に到達したことにより、被保険者数が高止まりしており、各種健診等の予防策の強化に努める必要があります。

水道事業では、職員が24時間管理を行っており、経営費の削減のために工事を職員が自主施工するともに、施設管理の工夫など経費の削減に努めて安定した経営が行われています。今後は老朽化した配水管の布設替えや施設の大規模改修などが予測され、技術職員の確保などの課題もある中で、収益性の向上を目指しながら経営に努めてもらいたいです。

以上、令和7年度決算は、道の駅改修事業、生活者支援商品券補助金、小学校体育館空調設置事業など幅広い事業を展開し、有効な財源を確保しながら、経費の削減にも努め、予算が的確に執行され、大変評価できるものであり、令和7年度の一般会計、特別会計の決算に対する賛成討論といたします。

第5回（9月）定例会 審議結果（決算の認定）

賛成＝○ 反対＝× 議長＝―（議長は、採決に加わりません）

議案番号等	議案名	議決結果	池田孝幸	椿浩一	大原秀雄	高柳智	荒井葉一	鈴木節子	石橋伸一	宝田久元	高橋正剛
認定第1号	令和7年度神崎町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	―
認定第2号	令和7年度神崎町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	―
認定第3号	令和7年度神崎町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	―
認定第4号	令和7年度神崎町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	―
認定第5号	令和7年度神崎町水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	―

をう
町政問

要望等だけでなく 長期的・計画的な道路補修を

智員
高柳議



問 町道の実延長、舗装率は。

まちづくり課長 実延長は約100km、舗装率は92・9%です。

問 他市町の舗装率は。

まちづくり課長 成田市が96・2%、香取市が81・8%、多古町が87・5%、東庄町が74・6%です。

問 長期的な補修計画は。

まちづくり課長 町道の修繕工事は、区長要望、通学路設定、路面性状検査結果を参考に総合的に判断しています。路面性状検査を基に、どの路線をいつ、何年にやるといった計画はないけれども、状況をみながら、修

繕している状況です。



町道の舗装修繕(本宿3区)

主要事業執行状況

問 発酵大学は。

総務課担当課長 神崎発

酵大学のプラットフォームの下で、継続的な情報発信を行うことで、町内外の神崎町のファンの獲得、関係人口の増加を目的としています。神崎発酵大学の制度設計、PR冊子の作成、虎ノ門にあるガラスロックを活用して、町外の発酵に関心のある方を対象とした講座を開催して、神崎町の認知度向上や会員の獲得を図り、今後の

本格運用につなげていきます。

問 愛宕台道路新設は。

まちづくり課長 境界復元測量業務は6月末で完了しています。設計業務委託の

履行期限は10月30日で、来年もしくは再来年まで工事を行うっていく計画です。

問 内水ハザードマップは。

総務課主幹 市街地、下水道の排水量を基に計算するのですが、町では下水道がないので、内水マップとして、土地の高低によって、浸水の発生が想定される区域を一目で見て分かるように表示しています。今後は協議が必要



冠水した町道(神宿区)

問 省エネ家電補助は。

町民課長 申請件数は91件、執行率が56・8%で、エアコンが29件、テレビが28件、

冷蔵庫が34件で、冷蔵庫が一番多いです。

水道事業

問 人員配置等は。

まちづくり課主幹 一般職3名、技術職2名、会計年度職員2名計7名です。安全な水を届けるため、施設的な問題もありますが、急な停電とかに対応し、常時配水するため、必要な機械設備の確認を24時間体制で対応しております。

問 夜間委託等は。

まちづくり課主幹 職員の募集は行っても、応募者の適任者がいない状況です。今後、その技術、設備が分かる人間を確保するのが難しい以上、外部委託等も含めて検討していきます。



24時間管理の浄水場

空き家等問題

問 草木の苦情・相談は。

町民課長 要望・苦情等は7件で、筆数が複数件あるので、44件の土地の所有者に通知を行い、23件が解消されています。

問 空き家等の適正管理に関する条例は。

まちづくり課長 特定空き家等の認定、空き家対策を強く進めていくに当たって、今後、条例または空き家対策協議会の設置について、今年度中施行に向けて進めていく方向です。

シルバー人材センター

問 広域合併や委託等は。

保健福祉課長 基本的に市町村単位で設置されるものなので、広域合併は難しいですが、現状、単独運営は厳しい状況なので、今後、そういった方向性も含めて、情報収集に努めます。

その他の質問

・決算財政状況について
・来年度予算について



て程度の違いがあり、①1・2年生だけ同じ教室にしている。②3・4年生まで同じ教室にしている。③全学年で同じ教室にしている。④全学年で別々にしている。神崎町はどれになるのか。

教育課長 神崎町の小学校は、全学年で男女別々の部屋で着替えをしています。

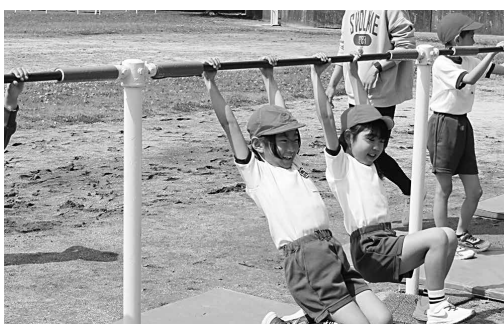
問 教室をカーテンで区切

教育課長 包括的性教育と

は、性に関する知識と人権、多様性、人間関係などを一体的に学ぶ教育を指しており、主に国際的な概念として扱われています。教室の着替えも、自分の体を自分で守り、他者との境界も尊重することは、人間教育の重要な視点だと考えます。

問 神崎町では、1年生か

教育課長 特別活動や体育



小学校での体育の授業

学校の普通教室も災害避難所として使えるか

問 学校の体育館が避難所として使われる事が多いが、熊本県では学校体育館のエアコン設置率が20%くらいで、猛暑の時期には使えない所もある。そこで、国は普通教室にはエアコンが設置されているのだから、そこを避難

所として活用するよう通知した。神崎町も小学校2校の体育館だけでは足りなくなつた場合、夏の災害時には普通教室も避難所として使うのか。

教育課長 学校の教室は、児童の授業場所としてできる限り確保しておく必要がありますが、大きな災害で避難所が不足するような場合には、状況に応じて避難所として利用することも検討する必要があります。



小学校体育館に設置されたエアコン

災害後、神崎町の水道は早く復旧できるか

問 熊本地震では、なかなか水道が復旧しないということだったが、神崎町で同じような災害が起きた場合、早く復旧できるのか。

まちづくり課主幹 東日本大震災の発生直後、町内2か所の浄水場は緊急停止となり、神崎本宿、松崎、向野で配水管の破損がありました。最大186戸の断水がありました。地元の建設会社のご協力や職員の復旧作業の努力もあり、地震発生17日後には、仮設配水管による給水も含めて、町内全域で復旧することができました。



町政を
問

神崎学を深める 郷土資料の収集始まる

石橋 伸一
議 員



問 教育の日についての説明を。

教育課長 町民の教育に対する関心と理解を深め、学校教育及び社会教育の振興により、本町の教育の充実及び発展を図るとともに、本町を愛し、ふるさとに誇りを持つ子どもたちを育むために設けています。

問 プラザの図書室はどのくらい利用されているか。

教育課長 令和7年度の入館者数7109名で、その内図書の出出し数は3663名です。

問 郷土資料として、郷土地域に関する歴史、地誌、地名、絵画、地図、史跡、

名勝、写真、神社・仏閣、行政・経済、伝説、民話、方言、慣習、年中行事、文芸作品、芸能、郷土で発行された新聞、地方版、官公庁及び団体の刊行物、学校の記念誌、文化協会の書道、川柳、絵手紙、俳句、短歌など地域の各方面の活動を広く提供し、次の世代に引き継ぐため郷土資料を集め展示してはどうか。

教育課長 本町の歴史や文化、文化財について、町民の皆様を知ってもらい、後世に伝えることは重要であると認識しています。

教育長 町の歴史・文化を知ることが大変重要なことです。簡単にできることと、長期的に考えることなど、続けるには組織も作っていく必要があります。記録に残して、後世に伝えていくというのは大事なことです。色々考えながら進めていきたいと



プラザ図書室に郷土史コーナーを

思います。

問 文化財の掘りおこしをしてはどうか。

教育課長 植房の専蔵院にある多羅葉樹(たらようじゅ)については、貴重なものであると認識しています。現在、指定できないかと歴史的価値、裏付けとなる郷土資料等を確認しています。

教育長 今、候補としておかげ観音、毛成の饅頭不動、大貫の涅槃図などについて、文化財審議委員の方々の意見や専門家の鑑定を経ながら探していけたらと思っています。

緊急時に必要

医療情報キットの活用開始

問 救急医療情報キットとは、どのようなものか。

保健福祉課長 かかりつけの医療機関や緊急時の連絡先等の情報を書き込んだ紙を専用の容器に入れ、各家庭の冷蔵庫に保管しておくものです。救急隊が駆けつけた際、傷病者の正確な情報を素早く把握し、迅速な救急搬送が可能になります。

問 町に独居の人はどのくらいいるのか。

保健福祉課長 今年の4月1日現在、65歳以上の高齢者、独居世帯の方が572名です。また、65歳以上の高齢者のみの世帯数は307世帯となっています。

問 医療情報キットの活用を社会福祉協議会と保健福祉課が連携して進めてはどうか。

保健福祉課長 事業の実施主体は社会福祉協議会が担って、町は広報等の協力支援をする形で現在協議を行っています。今後は事業の実施に向け、配布の方法や

対象について詳細な協議を詰めていく考えです。

町長 町としても社会福祉協議会と一緒に、広報や配布に協力していきたいと思っています。



救急医療情報キット(見本)

有効活用求む遊休農地

問 遊休農地の定義と現在の面積はどのくらいか。

まちづくり課長 過去1年以上作物の栽培が行われず、維持管理が適正に行われていない農地です。現在、水田と畑で約2・27haです。

問 遊休農地を減らすために町はどのような対応を行っているか。

まちづくり課長 農地所有者に適切な管理を促すほか、除草や木の伐採・伐根といった整備を行って耕作の意向を持った農業者に斡旋して解消を図っています。

町道毛成堀籠線の 入札不調の原因は

問 工事金額の乖離は、町が見込んでいた金額とどの程度の乖離があったのか。

まちづくり課長 1億を超える金額の乖離がありました。

問 工法の確実性、工事金額の乖離を埋めるために執行部として、何をどのように取組んできたか。

まちづくり課長 これまで機械を小型化するという前提で計画を進めておりましたが、大型機械でのくい打ち工法への見直しと、搬入路の仮設整備の対象区域の特定や敷き鉄板の数量の算出など工事金額の再算定を進めている状況です。

ふるさと納税今年の状況は

問 ふるさと納税の申込み状況はどうなっているか。

総務課担当課長 現段階

で、約3800万円の寄附があります。その中で米に対する寄附は、金額ベースで約3000万円です。玄米

の数量で約31tの申込みがあり、全集荷量が60tですので51・7%になります。

問 この数値は、当初予算から大きく減っているか。

総務課担当課長 神崎米の

集荷を120tで考えていま
したが、5月開始の先行予
約が7月時点で4t程度の
寄附の状況であつたので全集
荷量を半減した状況です。

寄附金額についても、31年度約3000万円という金額は米価の下落が影響していると考えています。

問 6月議会の時に、神崎米1俵当たり契約単価2万2000円との答弁であったと思いますが、この契約単価をどのくらいまで下げたのか。

総務課担当課長
JAかと

りの提示価格が、ふさおとめ
1万5500円、ふさこがね
1万5000円でしたので、町

としてはふるさと納税で寄

附が入る商品価値にするために、生産者からの買取価

格を下げる必要があります。たので、1俵1万5000円でご理解をいただいたところです。

問 ふるさと納税において神
崎米の他に柱となるような
物品やサービス等を考えてい
るか。

総務課担当課長 本町の柱

でなく、神崎産の紅はるかを使った干し芋200キロを返礼品として提供したところ、約90万円の寄附がございました。



新たな返礼品の干し芋

福祉タクシーの利用状況はどうか

問 福祉タクシー補助事業の

対象事業者は何社あるのか。

保健福祉課長 登録事業者

は、一般のタクシー会社が12社、介護タクシーで15社と契約しています。

問 利用者は27社あるということを理解しているか。

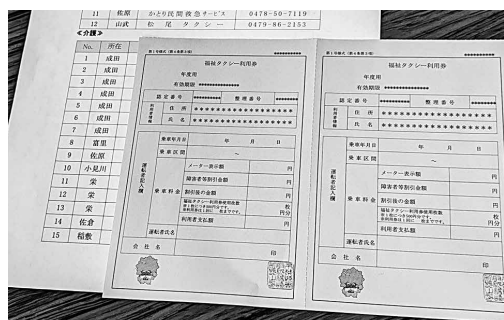
保健福祉課長
福祉タクシ

券を送付する際、福祉タクシー事業の概要と事業者27社の一覧を一緒に送っています。

問 福祉タクシー利用者が予約が取れない、呼んでもなかなか来ない等の意見があるが、町は理解しているか。

保健福祉課長 そのような

ご意見を病院の方から聞いたことはあります。



福祉タクシー利用券と事業者一覧

をう
町政問

「発酵×オーガニックビレッジ」 宣言後の変化について

池田 孝幸
議員



と消費者にアピールしていきたいと思っています。

問 対外的に「発酵×オーガニック宣言」がアピールできたのか教えてください。

まちづくり課主幹 様々な機会に情報発信してきました。今年「宣言シール」を活用し、生産した農産物の袋にシールを貼り、内外の消費者へPRしています。

問 本町の農業や商工業に対し、どのような影響を及ぼす事が出来たのか。

まちづくり課主幹 令和5年で水稲は約8.3ha、野菜約3.2haでした。現在水稲は10.8haで、2.5ha増、野菜は4.8haで約1.6ha増となっています。

問 オーガニックの生産量ほどの程度を目指し、実施しているかと計画されているのか教えてください。

まちづくり課主幹 最初の段階での数値目標は水稲で10haです。引き続き生産者

認知症患者の現状と患者への対応について

問 第3期神崎町人口ビジョンで高齢者の人口比率が今後、人口の半分以上になると予測されています。現在の認知症患者の現状は。

保健福祉課長 厚労省の調査で令和4年の高齢者のうち、認知症を患っている方は、約12.3%です。令和7年度末の町の人口は2036人なので、統計上では、約250人となります。

問 認知症患者の尊厳を守り、優しさを伝える新たな認知症ケアの技法「ユマニチュード」など、介護スタッフの質向上に繋げる研修などは行っているのか。



ふれあいプラザ保健福祉館

保健福祉課長 現状町では、認知症サポーター養成講座を実施しております。

認知症の方への正しい理解と知識を学んで、認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活出来るよう見守りや、患者の立場に立つて深く考えていける人材を育てる講座です。「ユマニチュード」は、相手の尊厳を守りつつ、信頼関係を築く技法であることを理解しております。今後も信頼関係を築くことを前提に、講座や窓口対応する職員に対しても、新たな技法を学んで行きたいと考えています。

問 社会福祉協議会との連携はどうなっているのか。

保健福祉課長 社会福祉協議会と保健福祉課とは、介護や認知症関係に関わらず様々な事業で協力体制を保つていく団体であると認識しており、今後も強く協力体制を保持していきます。

発酵マラソンの原資と実施の意義について



元気にスタート

問 今年度最終の総運営費、収入と支出はいくらか。

教育課長 収入は参加費約1000万円、町からの補助金とスポーツ振興くじ助成金で600万円、協賛金は約200万円、繰越金等が約200万円、雑収入を合わせて合計2000万円です。支出の合計は1835万円となります。

問 改めて「発酵マラソン」の目的と意義は。

町長 走者2370人で町民走者は198人、全人口の3.55%で他市町の倍近くが走っています。事前から事後まで多くのボランティアの方々に参加いただき、町民の元気と希望に繋がっていると思います。このことが目的であり、意義であると理解しております。

町政を
問

千葉県を襲う豪雨

宝田 久元
議員



問 避難所はいくつあるのか。食料は用意しているか。

総務課長 避難所はふれあいプラザ、神崎小、米沢小、神崎中、わくわく西の城、道の駅の6か所です。非常食と飲料水が用意してあります。

問 災害時の職員の手当てはどうなっているのか。県からの補助金はないのか。

総務課長 時間外手当で、通常の場合は町の単費となります。激甚災害になれば特別交付税で措置されます。

敬老大会は何歳からか

問 敬老大会招待者の対象はどんなっているのか。また予算はいくらか。

保健福祉課長 対象者は今年度中に75歳になる方で、予算は53万5千円です。敬老祝品は対象者全員に配付し、来場者には記念品として紅白饅頭とお茶を用意しています。

社会福祉協議会の経営状況はどうか

問 昨年から地域包括支援センターを委託し、補助金も増額した。デイサービス利用者は毎日20人程度だが、家賃と光熱費はどうなっているのか。

保健福祉課長 デイサービスの使用料は取っていません。光熱費は一定の割合で負担してもらっています。

問 経営状況はどうなのか。

町長 人件費の高騰で特にデイサービスが赤字です。

問 経営上の問題では。

町長 デイサービス利用者が施設に入所し人数が減り、赤

字となつても町の福祉に欠かせないので適正な補助を行う考えです。



わくわく西の城でのデイサービス

マラソン大会で発酵をPRできるのか

問 職員の人件費はどうなっているのか。

総務課長 マラソン大会の人件費は、代休振替になります。

問 発酵×オーガニックビレッジをマラソン参加者へどのように宣伝するのか。

町長 砂糖を使わないで作った甘酒を提供し、藍染めなどの講座を行い、発酵づくりのマラソン大会にしようと思つています。

ライジングスターズKRS

問 神崎中での陸上スクール

が好評だが、町で依頼したのか。KRSの意味は何か。

教育課長 KRSは神崎ライジングスターズの略です。スクールは町からの依頼ではありません。

問 中学校の部活は、全国的に土日は実施しないようだが、土日の大会はどうなのか。

教育長 来年度の中学校の総体予選が7月で終了し、香取1市3町は土日の部活が学校から離れます。しかし、9月10月まで大会はあるので顧問は引率します。基本的に土日の練習は行いません。

毛成橋は4度目の入札、これが最後

問 国土強靱化で令和7年度の3か年で国から補助金が出ることになっているので、今回の入札が最後。応札がなければ毛成橋は白紙になり、工法からやり直さなければならぬ。入札不調なら執行部の責任。

まちづくり課長 今回は本当に懸念されますが、条件

が整っているので応札できると考えています。

問 補正予算で7100万円追加のようだが、毛成掘籠線は総額で3億5千万円となる。橋だけで2億8千万円。財源はどうなっているのか。20tトラックが走れる立派な橋は過剰投資ではないか。1日の通行量はどのくらいになるのか。

まちづくり課長 とりあえず7100万円は一般財源から持ち出しになりますが、現在県に国の交付金の申請をしています。また、空港交付金を要望しており、交付されれば補正で歳入に計上します。1日の通行量は150台ですが、完成後は500台を見込んでいます。



議員による毛成橋の現地視察

議会の動き

8 月

- 7日 第76回利根川治水同盟治水大会
21日 香取郡市町議会議員研修大会

9 月

- 4日 議会運営委員会・全員協議会
8日 第5回定例会（第1日）
9日 第5回定例会（第2日）・町内現地視察
10日 総務文教常任委員会
14日 まちづくり厚生常任委員会
17日 行政視察（成田市内）
18日 第5回定例会（第3日）
19日 敬老大会（高橋議長、池田議員）
24日 議会広報編集特別委員会
27日 神崎小学校運動会

10 月

- 2日 神崎中学校体育祭
3日 神崎保育所運動会（高橋議長）
5日 大分県竹田市議会行政視察（高橋議長）
19日 香取広域市町村圏事務組合議会（高橋議長、石橋議員）
21日 議会広報編集特別委員会
22日 神崎町文化祭町民音楽会
25日 神崎町文化祭芸能発表会
29日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会
議会運営委員会・全員協議会（大原議員）



香取郡市町議会議員
研修大会を神崎ふれ
あいプラザで開催

8月21日、神崎ふれあいプラザ文化ホールで、令和8年度香取郡市町議会議員研修大会が開催されました。当日は、1市3町の議員をはじめ、小池正昭代議士や千葉県議会議員のほか多くの来賓を迎え、本町からは議員9名が出席しました。研修は、成田国際空港株式会社 常務執行役員の平山儀幸氏から「成田空港問題の歴史と第2の開港プロジェクトについて」と題した講演が行われました。また、長年の議員活動により自治功労表彰を神崎町議会より荒

井葉議員、大原秀雄議員、高柳智議員の3名が受彰されました。おめでとうござい

成田市消防本部、学校給食センターなどを行政視察

9月17日、9月定例会の休会日を利用して神崎町議会として行政視察を行いました。視察先は、平成18年度より神崎町の常備消防を委託している成田市消防本部、視察の調整をしていたいた成田市議会、新たに建設された学校給食センターで

す。消防本部では神崎町における緊急出動の状況や配備体制などの説明を受け、配備されている資機材等の見学を行いました。また、新設された学校給食センターでは、最新の設備による安全で美味しい給食を提供するための取組を視察しました。この学校給食センターは本年8月に完成し、行政視察の受け入れは神崎町議会が最初のことです。

今回の行政視察にあたり、調整いただいた成田市議会事務局をはじめ、ご対応いただいた関係者の皆様には厚くお礼申し上げます。

編集後記

各地で大雨に見舞われた夏から秋ですが、町では稲刈りも何とか済ませたようです。そして、月の明るい頃を過ぎ、早くも落ち葉の舞い散る季節を迎えます。

さて、歌の一節で「日に日に世界が悪くなる。」とありますが、地球温暖化や物価高、世界のどこかで戦争があり、不安になることもあるでしょう。しかし、日本国憲法が平和や生活を守ってくれます。それには、国民の不断の努力こそが大事と言われます。一人一人が未来について考えましょう。

鈴木 節子

